

都民体育大会 サッカー競技におけるガイドライン

1. ガイドラインの運用方針

本ガイドラインは、「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、三つの密を回避することを目的として運用することとします。
自己感染を回避するとともに他人に感染させないよう徹底しましょう。

<三つの密>

- ◆密閉空間(換気の悪い密閉空間である)
- ◆密集場所(多くの人が密集している)
- ◆密接場所(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発生が行われる)という3つの条件。

2. 日常のチーム活動におけるガイドライン

- ① 日常の活動で感染防止に努める。
- ② 各チームでも日常的に選手の体温や体調を管理する。
選手及びチーム関係者、大会運営担当者は個々に熱を計測し、熱がある場合は自己申告で参加しない。

3. 都民大会試合当日におけるガイドライン

<チーム対応>

本大会では、コロナ禍の状況を踏まえ、全試合**無観客試合**とします。従来通り、登録者以外のグラウンドレベルへの立ち入りを厳禁とします。施設管理者の指示に従い、観客席での観戦、応援も禁止とします(観客席の使用は、次試合の更衣に限定します。**各会場の更衣室、シャワー室は使用できません**)。

グラウンド入口、トイレ等に消毒液を設置するので、適宜使用して入場ください。

●検温の実施

- ① 各チームにおいて、試合当日の選手・関係者全員の検温結果を確認する。
※37.5℃以上の選手は来場させない。
※試合会場に来場してから、37.5℃以上の体温を確認した選手・関係者は速やかに帰宅させる。
- ② 各チームは、参加選手の試合当日の体温を計測した結果を「個人体調管理表」を兼ねたメンバー表として提出すること。 ※状況の確認ができるメンバー表を提出されないと、試合は開始できません。

●マスクの着用

- ① 選手・チーム関係者全員が、待機中、試合中を問わずマスクを着用すること(出場中の選手は除く)。
- ② チーム応援者・同伴者も、待機中、試合中を問わずマスクを着用すること。

●三密を避ける

- ① チームは必要以上に早く来場しない。
- ② チームは、試合後出来る限り早く施設を離れる。
- ③ チームミーティングは、チームメンバーの間隔をあけて実施する。
- ④ チームベンチでは、控え選手ならびにチームスタッフは、可能な範囲で間隔を空けて着席する。
- ⑤ チーム関係者も必要以上に施設に留まらない。
- ⑥ 更衣をする際の会話は控える。

●試合における行動

- ① **試合中の身体接触を除いて**、出来る限り人との接触をしない。

(例1) 得点の喜びも控えめにする。

(例2) (例2)選手間の握手またはハグ。

- ② 飲料水等を他人と共有しない。(回し飲みしない)

本大会では、飲水タイム 1 分をランニングタイムとして導入する(季節を勘案して、クーリングブレイクは基本的に採用しないが、当日の天候等により主審の判断で実施することもある)。飲水においては、マイボトルまたは新品ボトルを用意するなどチームに於いて工夫をして、回し飲みは禁止する。

<運営担当者の対応>

●検温の実施

審判、連盟関係者(本部)の試合当日の検温結果を、「審判員体調管理表」、「本部役員体調管理表」の記載を確認する。

※審判、本部担当で37.5℃以上の方は試合会場に来場せず、最優先で代替対応の手配を自宅において行う(来場してから判明した場合には速やかに帰宅すること)。

※この状況は、審判・本部は協議の上、適宜状況に応じた対応を決定する。

●マスクの着用

- ① 連盟関係者(本部)はマスクの着用を義務とする。
- ② 審判員も、試合中以外ではマスクを着用する。

●本部の対応

(試合前)

- ① メンバー表・登録票の提出に際し、必ず「**個人体調管理表**」の記載がされていることを確認する。

* **万ー検温を忘れた者がいた場合は、備品の体温計(非接触タイプ)を用いて必ずチェックする。**

- ② 審判による選手チェックは、人との距離を空けて並ばせる。
- ③ 試合開始前の整列は、向かい合わず、タッチラインから5m程度のところに横一列に並ぶ指示をする。
- ④ 選手同士及び審判との握手等の接触行為は禁止することを、チームに明確に伝える。

(試合後)

- ① 試合後の整列も試合前同様に横一列に並ぶように指示する。
- ② チームへは、試合後出来る限り早くグラウンドから退去し、施設からも離れる様に指示、誘導をする。

(参考)対象者全員の検温タイミングについて

- ・日常において習慣的な検温に心がける。
- ・試合当日はまず自宅を出る前に検温をし、問題が無いことを自ら確認して会場へ向かう。
- ・その後、試合開始までの間に体調の変化を自覚した際は、直ちに活動を停止し、自宅へ帰宅し最善の対応に努める。なお、**その状況をチーム代表者へ報告し、代表者は本部への報告を逐次行う。**
- ・万が一、当日検温を忘れた際は、会場入り直後に、直ちに検温、確認を行う。

* 準備運動後では正確な計測が難しいので、必ず運動前に行うこと。

4. 都民大会開幕、初戦以前に新型コロナウイルスの感染者がチーム関係者から発生した場合

- ① 感染者がチーム関係者から発生した場合、直ちにチームは地区連盟委員長に報告する。
- ② 連盟は発生に関する情報を収集し、情報入手後の三日以内に当該対応について協議する。
- ③ 連盟は、東京都サッカー協会、東京都体育協会と連携して対処を決定し、必要に応じて開示する。

<感染者の参考定義：医療機関の判断も踏まえて感染者の該当、非該当を判定すること>

- 1) ◎自宅で検温して 37.5℃以上の熱がある。
- 2) ◎体調がすぐれない。
- 3) ◎過去 2 週間以内に体調が悪かった人
 - ・平熱を超える発熱(一般的に 37.5℃以上)
 - ・せき・くしゃみ・のどの痛みなど風邪の症状
 - ・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ・嗅覚や味覚に違和感
 - ・体が重く感じる、疲れやすい等
- 4) ◎過去 2 週間以内に、下記に該当する人と濃厚接触した人
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性と診断された人
 - ・同居している家族や身近な知人で感染が疑われた人

5. 都民大会開幕後に新型コロナウイルスの感染者がチーム関係者から判明した場合

- ① チーム関係者から感染者が確認された場合、チームは直ちに地区サッカー連盟委員長に報告する。
- ② 地区サッカー連盟は発生に関する情報を収集し、情報入手当日中に当該対応について協議する。
- ③ 発生時期ならびに感染ルート等を考慮し、都民大会継続が可能か否かを判断し、東京都サッカー協会、東京都体育協会と連携して対処を決定し、速やかに開示する。

6. 新型コロナウイルスの感染が再度拡大され、緊急事態宣言が再度宣言された場合

- ① 地区サッカー連盟はその後の対応について協議し開催の可否を決定し、その対応は前項に準ずる。

以上をもとに、都民体育大会に参加される全ての方々が、**楽しく・安全に**サッカーが出来るように、一人一人が努めていただけるようお願い致します。

～～(補足事項)～～

補足 1・当日の運営について

- ・各会場の第 1 試合の両チームは、本部の指示に従いグラウンドの整備を行う。
- ・各試合の本部は、チームから提出された「健康チェックリスト」、審判・本部の健康記録を保管し、有事の際には地区連盟委員長に速やかに提出できるようにする。

補 2. その他

- ・今回のコロナウィルスの感染の影響や突発的な事象により、状況に変化が生じた場合、その都度状況に応じて対応を修正していきます。各位におきましては、ご理解ご協力をお願い致します。

地区サッカー連盟委員長連絡先： 児玉 080-5016-9702

2022年4月末日
東京都サッカー協会 地区サッカー連盟